

学校安全・防災だより

【第18号】

令和5年2月15日（水）

保健体育安全課発行



地域と連携した学校防災体制の充実に向けて 県内の取組事例集を作成しました

このたび、各学校において、地域と連携した防災体制づくりの参考としていただくよう、県内の安全担当主幹教諭のレポート（令和4年度安全担当主幹教諭研修の研究協議で使用）を取りまとめ、取組事例集を作成しました。

事例集には、安全担当主幹教諭が勤務する市町村または、中学校区等での取組など、県内各地域の取組事例を掲載していますので、各学校での取組の参考とさせていただきます。

【掲載箇所】みやぎ学校防災ポータルサイト「みやぼう」

<https://www.pref.miyagi.jp/documents/37558/jireishu.pdf>

【掲載例】○地域住民や防災担当部局等と連携した合同の避難訓練

○学校の防災マニュアルや避難訓練での第三者（地域住民、保護者等）による点検・評価

○地域学校安全委員会及びコミュニティ・スクール等の仕組みを活用した防災教育の推進

○大学等の研究機関や専門機関、地域の外部専門家等の参画による防災マニュアルの見直し

○地域等と連携した防災体制構築を図るための取組（避難所開設、引き渡し訓練等）

※なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前の取組も一部掲載しています。



令和4年度安全担当主幹教諭研修会（2日目）レポート 大河原町立大河原南小学校	
地域と連携した防災体制の取組事例	
市町村等	大河原町
事例1	<p>【地域住民と連携した合同の防災訓練】</p> <p>今年度3年ぶりに小中合同で“防災の集い”を実施した。町総務課消防防災係と連携し、各行政区長へ協力を要請した。町内全部の小中学生が、朝8時の防災サイレンの合図で各地区の集会所等に集合した。</p> <p>事前指導では地区ごとに整列したり離背を説明したりなどした。当日は高学年児童や中学生が下級生の面倒を見て整列させるよう促し、行政区長から地区の危険箇所の説明を受け、小学校まで集団登校した。</p> 
事例2	<p>【コミュニティスクールの団体による防災キャンプ】</p> <p>新旧PTAの有志で結成した「オヤジの会」が主催し、小学校の校庭や特別教室で防災キャンプを実施した。希望する6年生児童を対象に、防災マップの確認や防災クイズ、竹を使ってのサバイバル飯調理、ドラム缶風呂など楽しく防災について学んだ。</p> <p>今年度は夏休み中に実施予定であったが、今般の事情により秋以降に延期となった。</p> 
事例3	<p>【保護者らによる通学路安全点検】</p> <p>PTAの安全補導部を中心に、8つある行政区ごとに危険箇所の確認や通学路の安全点検を実施している。交通安全面はもとより、大雨で冠水しやすい場所や、地震で倒壊する恐れのあるブロック塀など、防災面からもチェックをしてもらい毎年更新している。それをもとに通学路合同点検で再確認し、次回の学校運営協議会で委員の方々とも情報共有するとともに、意見をいただく予定である。</p> 
域内の地域連携推進上の課題	<p>○事例1の「小中合同防災の集い」については、前年度から各校の安全担当者で協議・準備を進めてきたため円滑に引継ぎができた。一方で、地域と連携した防災体制についてはまだ十分とは言えず、今後はさらに地域コーディネーターを中核として、機能的かつ計画的に進められるようにすることが必要である。</p>

令和4年度安全担当主幹教諭研修会（2日目）レポート 気仙沼市立津谷小学校	
地域と連携した防災体制の取組事例	
市町村等	気仙沼市本吉町津谷中学校区
事例1	<p>【中学校区一斉引き渡し訓練】</p> <p>津谷中学校区の特に小泉地区や津谷大沢・登米沢地区は、東日本大震災で津波による被害が大きかった場所である。中学校区で一斉に引き渡し訓練をすることで、安全で確実な児童の引き渡し体制を確立するとともに、学校と家庭の間で引き渡しの際の方法等について共通理解を図ることを目的としている。</p> <p>訓練の際には、地域の交通指導員や総合支所の方に道路や駐車場に立って誘導していただいた。</p> <p>今後は、公民館だよりや支所だより、防災無線等活用して地域全域に引き渡し訓練について御理解御協力いただけるようにしていく予定である。</p> 
事例2	<p>【保護者と連携した合同の危険箇所点検】</p> <p>夏季休業に入る前に、職員と保護者（PTA専門部「安全補導部」）がグループごとに学区内の危険箇所の点検を行う活動である。地域の地図に危険と思われる箇所を書き込み、どのように危険なのかをまとめる。それらを全職員で周知し、児童への指導を行う。さらに、民生委員児童委員との協議会で、学区内の危険箇所について話し、日頃から見守り等の御協力をお願いしている。（今年度は協議会は実施せず、資料だけ配付とした。）</p> 
事例3	<p>【学校運営協議会の安全防災グループ】</p> <p>津谷小学校はコミュニティスクール6年目となる。学校運営協議会の中に、「環境整備」「地域人材」「安全防災」の3つのグループを設けている。その中の「安全防災グループ」では、中学校区一斉引き渡し訓練や児童の下校時の見守り活動など、児童が安全に学校生活を送ることができるようにするための助言や新たな意見をいただいた。</p> <p>今後は、それらの実現に向けて、話し合いを深めていく。</p> 
域内の地域連携推進上の課題	<p>○新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のために、避難場所の変更があった。常に、状況に合わせて対応していく必要がある。</p> <p>○PTA専門部が十分に機能し、いろいろな活動に御協力いただけるように、話し合いや専門部の編成やPTA活動再開を行うこと等が喫緊の課題である。</p>

学校安全の参考資料紹介

文部科学省では、過日、令和4年度「学校安全総合支援事業」全国成果発表会をオンラインで開催し、学校安全を進める上で、参考となる実践発表等をホームページに公開しています。

各学校における学校安全の取組の検討に当たり、参考としてください。

【掲載箇所】

文部科学省 令和4年度「学校安全総合支援事業」全国成果発表会

https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/sougou_r04_seika.html



※発表スライド一部を紹介。詳細は、各資料を御覧ください。

【基調講演】

「児童・生徒のケガを減らす一変えられるものを見つけ、
変えられるものを変える」

講師 緑園こどもクリニック院長

NPO 法人 Safe Kids Japan 理事長

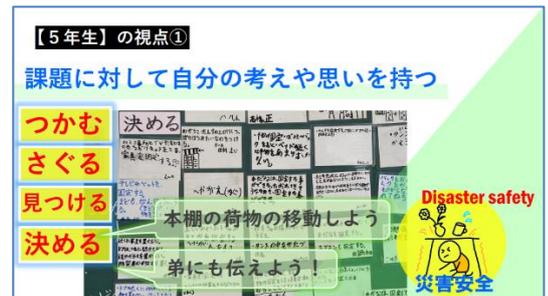
日本学術会議特任連携会員 山中 龍宏 氏



【実践発表】

「自ら学ぶ力を身に付け、生き抜く力を育む～「気づき・
感じ・伝え合う」ことを大切にした安全教育の日常化～」

高知県 土佐市立蓮池小学校



「子どもたちの命を守る学校安全推進体制の構築に向けて」

千葉県 八街市教育委員会



「デバイスと地域力を活用した通学路の安全確保」

山口県 光市立光井中学校・光井小学校



文部科学省「教職員のための学校安全 e-ラーニング」教材が改訂されました！！

文部科学省では、「第3次学校安全の推進に関する計画」（令和4年3月25日閣議決定）を踏まえ、学校安全のe-ラーニング教材を改訂しています。

本教材を学校の校内研修等でぜひご活用ください。

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/learning/index.html>

